

# 1. 評価結果概要表

作成日 2007年12月25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3271100590		
法人名	医療法人 同仁会		
事業所名	グループホーム あい		
所在地	島根県松江市宍道町白石130-6 (電話) 0852-66-3601		

評価機関名	特定非営利活動法人 コンティゴしまね		
所在地	島根県松江市西持田町362-42		
訪問調査日	平成19年11月13日	評価確定日	平成19年12月25日

## 【情報提供票より】(H19年10月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 3月 28日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人(兼務1)、非常勤 0、常勤換算	7.6 人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての		2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	51,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円
敷金	(有) 100,000円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,650 円

### (4) 利用者の概要(10月25日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	6 名	要介護2	2 名		
要介護3	0 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	66 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	こなんホスピタル 深田歯科医院
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人の敷地内にあり、病院、老健施設、デイケア、訪問看護等介護保険サービスにより地域サービスの充実が図られている。ことに介護予防ケアではパワーリハビリ等の設備、スタッフが充実・強化されている。立地的には、民家とは離れており交流支援が得られにくい点はあるが、運営推進会議等の充実を図りボランティアの導入、交流につなげる努力がされている。可能な限り個人のしたい要望にそっての外出が実施されている。理念で「老いは自己実現のとき、『生きる意味』に目覚め、『生きる意欲』がたかめられなければならない」とし、在宅復帰をめざしたサービス提供に努めている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>昨年の要改善対応としては、理念をパンフレットやホームだよりに表記して配布している。ケアプランのアセスメント検討と実践経過記録の作成、定期カンファレンスの実施、個人記録の推移経過記録の作成、包丁等の注意の必要な物品の管理記録等取組みを充実させている。また、定期的なボランティアの受け入れ等改善が図られている。未実施のものについても、逐次準備中である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員が自己評価を行い、管理者が意見集約してとりまとめている。地域との交流、家族会の組織化、評価結果の改善課題、研修の充実等の話し合いがもたれている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>松江市介護保険課、湖南地域包括支援センター、地元民生委員、家族代表、ホーム管理者、職員代表が出席して2ヶ月に1回開催することとしている。今年度は5月・8月に開催し、ホームの運営全般、利用者状況や活動状況、災害時の対応、ボランティア協力依頼等、相互の理解と連携を深めている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の来訪時、毎月のたより、運営推進会議、ケア計画の作成に併せて細かに要望、意見等を聞くようにしている。利用者のさらなる個別支援をすすめるため、アセスメント内容の充実を目指し見直しの検討中で、支援の充実を図ることとしている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日常の買い物や希望外食のための外出、地域のそば祭り、花火大会等の催しへの参加等個別支援の充実が図られている。ホームは国道沿いのため交通量が多くまた民家と離れていたり鉄道線路で分断されている環境にあり、同一法人の病院、老健施設、通所施設等利用者との交流が中心となっている。幼稚園、中学校(掃除)、分校(調理)等と交流している。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	医療法人としての運営理念とともに、「生きる意味」、「生きる意欲」を高め、高齢者のよりよい生き方をささえるサービスの実践につとめている。	○	利用者の長期化、重度化等を考えた場合、将来への課題として地域との交流を深めるような視点も期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の周知と理解にあたっては、パンフレットや掲示、ミーティング等で共有し、心身、身体機能の維持と回復にパワーリハビリや個別外出支援等に力をいれ、理念に基づく安心と満足のできる一日の支援に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のそば祭り、花火大会等の催しへの参加等個別支援の充実が図られている。ホームは国道沿いのため交通量が多くまた民家と離れ、鉄道線路で分断された環境にあり、同一法人の病院、老健施設、通所施設等の利用者との交流が中心となっている。幼稚園、中学校(掃除)、分校(調理)等と交流している。	○	ホームの設置環境の点では、近隣地域住民との日常的交流は困難な点はあるが、広報紙「ほのぼの」の配布等を通じてボランティアの拡大や地域のひとり暮らし高齢者の訪問受け入れ、地域の防災連携など積極的に取り組んでほしい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義、目的を正しく理解し、管理者と職員でカンファレンスを中心に自己評価を実施して取りまとめている。運営推進会議で結果を報告し、外部評価改善項目として改善の取り組み具合をまとめている。	○	緊急時マニュアル書などすぐに実現できた改善項目もあれば、地域ボランティア、金銭管理規程など改善に向けてまだ準備中のものもあり、今後続けて具現化に向けて努力されたい。苦情処理簿の作成、松江市や国保連の苦情相談、島根県運営適正化委員会等外部の窓口も明示し利用者、家族等との信頼関係を高めてほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、ホームの取り組みについての意見交換がなされている。委員構成は、市介護保険課、地域包括支援センター、地元民生委員、家族及び職員の代表(交替)などである。	○	地域との交流がホームの課題でもあり、会議のテーマや参加メンバーの工夫(近隣住民や同業者など)により、更に地域理解をすすめると共に協力が得られるような会議につなげてほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	松江市のブロック会議、宍道町ワーキングスタッフ会議へ積極的に参加し連携してサービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族へは日帰り外出の一こま写真入りの「あい便り」と個別の近況たよりを毎月、法人「ほのぼの通信」を2月に1回送付することにより随時状況を知らせている。金銭の管理状況についても、毎月の利用料請求に併せ報告されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時の家族参加、運営推進会議への代表出席、入居時や面会時の面接機会を捉えて苦情要望等積極的に把握するようつとめている。	○	遠方であったり、親族関係の希薄な利用者もありホームから情報が届くように配慮されているが、今後は同じ立場で気安く本音がきける家族会等の支援がなされ、意見が運営に反映されることを期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員は資格取得者の正規職員を配置している。現在、産休、育休と2名の職員が休暇中であるが、その補充は法人全体の中から正規職員による責任あるフォローがなされ、継続支援、サービス低下をきたさない配慮をしている。		
d					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体での研修が月3回程度(認知症、救急法、復命報告など)、ホームでは毎月の職員会等、内部研修は充実している。外部研修は申し込み中だが順番待ちであったり、職員の休暇等で研修時間の確保に苦慮している。	○	職員個々の個別課題により、目的意識をもって積極的に参加できるような年間研修計画を作成し、更にサービス現場での実践トレーニング(OJT)にも期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人の実施している老健ケアセンター、訪問リハ等在宅サービス(部会の事務局)の充実が図られており、管理者は、居宅介護支援事業所と兼務のため在宅サービス事業者等との連携は密接である。	○	近隣の他ホームと相互交流したり、ブロック会等実務研修の場所へ参加するなどして情報収集や情報交換がなされ、職員の意欲やサービス改善への機会につなげて欲しい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前にはホームへ見学に訪れてもらったり、訪問して、利用者家族の要望や状況を把握して不安を取り除きなじみの関係づくりに配慮している。法人内の老健からの場合、昼間馴染んでから入居してもらっている。家族との連携では、面会時間の設定もなく自由であり、また電話での連絡などすぐ本人と話ができる体制を整えている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	掃除や食事準備等一緒にするようにしたり、おはぎなど手作りおやつを週4～5回設けて、その味付けや作り方を教えてもらいながらこれまでの経験が発揮できるよう支援している。また、以前の職業を活かして誕生会などの挨拶をしてもらったりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時のアセスメントや、本人、家族から思いや意向を聴き把握に努めている。日常の関わりの中で、耳を傾け表情を見ながら、本人の望んでいる思いを汲み取っている。毎日の個人記録には、本人のつぶやきや思いをアルファベット表示により区別して記載し、本人理解に努め、日々のケアに活かすようにしている。	○	入居時に聴き取った内容に、面会時や日頃把握した情報や意向を加え、またスタッフ間で共有しやすいアセスメント様式を工夫されたい。入居前の暮らしぶりや、輝いていた過去の出来事、好きな事、得意な事、できること、できないことなど、丹念に把握しやすい記入様式が望まれる。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	居室担当者、計画作成担当者を中心に、本人や家族の意向を聴き取り、時には一緒に話し合いに入ってもらいながら、本人にとってよりよい暮らしが出来るよう、介護計画を作成している。月に2回のカンファレンスで意見交換をし、個人記録ではアルファベット表示により、計画に関連した分かりやすい記載をする事によって、ケアに結びつける工夫がされている。	○	サービス計画書の第1表を利用し、「利用者及び家族の生活に対する意向」や「総合的な援助方針」を記載することが望ましい。また、ケア期間についても明示されたい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的には年2回見直しをしているが、他に本人や家族の要望を聴き、又、本人の変化にも応じながら随時見直しを行っている。	○	個人記録に計画の実践経過を記録し、見直しに活用するとともに、サービス計画書に見直しの日付、評価(モニタリング)を記入するようにはしてほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内の病院と契約により医療連携体制をとっており、老健施設、デイケアのPTやOTの協力による週2回のパワーリハビリなど活用している。受診付き添い、外出支援など、本人、家族の状況に応じて支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の意向を聴き取り、希望するかかりつけ医の受診を継続している。町内の診療所をかかりつけ医としている人は、訪問診療を受けている。受診付き添いは家族の希望に応じて対応しており、健康面の情報提供も行っている。市の定期健診も其々のかかりつけ医で受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携体制があり重度化に備えている。家族、かかりつけ医と連携を図り、検討と方針の共有を図るようにしている。	○	契約書の中に、病気のため長期の入院による退居について記載されている。本人や家族と重度化した場合や終末期の希望、具体的対応について折にふれて話し合う機会を持ち、方針を共有できるようにしてほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	法人内の接遇委員会を中心に、個人の尊厳やプライバシー保護について話し合い、管理者や研修をとおして職員の意識向上につなげる努力をしている。部屋へ入る時のノックや言葉かけ、対応の様子に、それが徹底されていることが窺える。写真掲載や情報提供については個人情報提供同意書で確認している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全体で時間を決めるのではなく、掃除、花の水やり、散歩、車見物など、本人の過ごしたいように過ごし、一人ひとりの希望に応じた支援をしている。入眠困難な人の場合には将棋をしたり、話を聴いたりして、緩やかな対応をしている。衣服も声かけによって本人が好みの服を選んで着替えをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	併設の老健から3食届き、盛り付けと片付けは利用者と一緒にやっている。汁物は材料の買出しから調理まで利用者と一緒に行っている。おやつは週4～5回位、希望によりホットケーキ等を一緒に手作りしている。季節に応じて、笹巻き、ぼたもち、おもち、梅干など、利用者の知恵を借りながら一緒に作って食べている。	○	嗜好調査をしたり、時には鍋物など季節を感じられる、ホーム独自の食事を取り入れてみてほしい。汁物やおやつ作りの時など、参加者が偏らないよう、今以上に利用者の出番を作る役割の工夫をしてみしてほしい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	14時から21時の間で、一人ひとりの希望により好きな時間に入ってもらい支援している。基本的に毎日入れるようにしている。入りたくない人がある場合は、時間をずらして声掛けをしたり、時には温泉に誘うこともある。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の盛り付け配膳・片付けや、汁物作りを楽しみな出番として、得意な人に参加してもらっている。おやつも利用者と手作りをして楽しんでいる。掃除、洗濯、畑・花壇の水やりなどの役割や、新聞購読、飲酒、広告紙でゴミ入れ作りなど楽しみの場を作っている。食事前に嚥下体操も行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩が好きな人には付き添って見守りをしながら、法人敷地内を一周するなど楽しんでいる。希望に応じて美容院に行ったり併設病院の売店や近くのスーパーへ買い物に出かけるほか、月に1回は美術館や水族館へ外食を伴う外出をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけないことの重要性を職員はよく理解しており、日中は鍵をかけない自由な暮らしをしている。出かけた行動パターンのある人には、心理的背景の把握や、目で追う見守り、付き添っての散歩などで、落ち着いた暮らしを支援している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人内施設合同により、消防署の参加も得て年2回の消火避難訓練を実施している。災害対策マニュアル書や消防訓練実施記録も整えられており、防災への意識の共有を図っている。非常通報装置も備え消防署との連携が図られている。	○	広報紙や運営推進会議などを利用して、近隣の住民や地域消防団の協力が得られるよう働きかけてほしい。法人の施設もあり、災害時には地域の人の避難場所として機能することも考えられるので、日頃から地域との連携を図ることを期待したい。災害に備えた非常用食料や、備品の準備についても検討してみしてほしい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の管理栄養士が献立を立てている。咀嚼や嚥下能力などを考慮して軟食や刻み食の提供をするなど食べる量が確保できるように気をつけている。食事量や水分摂取量は個別の記録に記載され、職員が情報の共有をし体調管理に留意している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は1階デイケアの入り口と共用なので、利用者の履物は2階入り口の下駄箱に納めている。階段の壁にはふくろうなど手芸品がさりげなく飾ってある。ホールの窓辺やテーブルの上には季節の花が飾られ、水槽には熱帯魚を飼育するなど、ほっと心安らぐ空間となっている。2階だが適度に換気もされておりトイレなどの異臭も無く、前を国道が通っているのに気になる騒音も感じられず、居心地良い環境となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入り口の扉には部屋ごとにちがう色で目印がつけられ、またいろんなフルーツの飾りが下げてあり、個々の部屋がわかるようにしてある。ベッドと箆笥はホーム備え付けだが、自宅からテレビや使い慣れた飾り棚、小物入れなどを持ち込み、家族や好きな俳優の写真なども飾られており、くつろげる空間となっている。		